

4 1人1台端末の利活用に係る計画

(1) 1人1台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

本市の第4期教育振興基本計画では「人をつなぐ、未来へつなぐ、市川の教育」を継承し、目指す子ども像に「互いに認め合い、自分の思いを実現する子ども」を示している。教育政策の方針は「可能性の伸長」「学びの保障」「学びの環境整備」の3つに整理され、教育のDX化はそのいずれにとっても基盤となる取り組みであり、個別最適な学びや探究的な学び、情報リテラシーを基盤とした授業実践により、デジタルツールを効果的に活かした創造的な学習を展開することで、児童生徒の問題解決力や発想力を養っていくことを目指している。

NEXTGIGAを推進する上で、計画の1つ目の方針「可能性の伸長」の実現のために、学習用タブレット端末等のICT機器を効果的に利活用することで「個別最適な学びを実現する学びの構造転換」「ICTや図書館を活用した探究的な学び」「言語力の育成」を一定的に進める。2つ目の方針「学びの保障」では、全ての子どもに目を向け、児童生徒たちが情報の取捨選択やデジタルスキルを磨くために高速大容量の通信ネットワーク等の環境を整備し、きめの細かい指導体制、学校内外の資産を活かした支援体制を構築していく。3本目の方針「学びの環境」では、先行事例の紹介や研修会の実施により、教職員のマインドセットを図り、働き方を改善し、誰にとってもウェルビーイングな学校を創っていく。

計画の実現に向けて、データ分析やAIを活用して教育効果を評価し、改善することで、より効果的な質の高い教育の実現を目指していく。これにより、未来の社会で必要な情報活用能力等の資質能力を身につけ、グローバルな競争社会に適応できる人材の育成を図る。

(2) GIGA 第1期の総括

GIGAスクール構想の実現に向けて、令和3年度より一人一台端末を導入してきた。教職員については、授業で活用することを前提に多様な職種の方に学校の規模に応じて、配付を行っている。また、これまで1Gであった通信回線を令和5年10月より10Gに拡張をし、通信ネットワークを改善した。校務支援システムも導入時はなかなか活用が進まなかったが、研修等を実施したことで、利活用率の上昇がみられる。

これまで「ICTにおける情報活用能力のコアカリキュラム」や「学習用タブレット端末の活用例」等などを示したり、ICT支援員を配置し支援を行ってきたりしたことで活用の促進は図られているが、学校間差や個人差が明確になり、課題となっている。また学びの構造転換については、今後の課題として、一斉授業から脱却と探究的な学びの充実が求められる。また、市内で活用の進んでいる学校の事例の紹介をするとともにGIGAスクール推進校において、授業公開と講演会を実施した。

NEXTGIGAの導入にあたっては、「個別最適な学びを実現する学びの構造転換」「ICTや図書館を活用した探究的な学び」「言語力の育成」を一体的に進めることを支援し、授業改善を小中学校に例示し、指導していく。市内で活用の進んでいる学校を研究推進校として、授業参観を実施したり、教育委員会が積極的に授業相談、授業支援を行ったりすることで活用促進を図っていく。

(3) 1人1台端末の利活用方策

「教育DXに係る当面のKPI」に示しているKPIにもとづく現状と目標

N0	項目	KPI	現状値 (年度)	目標値 (年度)
431	1人1台 端末の整備	指導者用端末整備済みの率:100%	100% (R7)	100% (R7)
432		1人1台端末を常時活用ができるよう、十分な予備機を整備しているか。	39% (R7)	100% (R10)
433	ネットワーク の改善	無線LAN又は移動通信システムによりインターネット接続を行う普及教室の率:目標100%	100% (R7)	100% (R7)
434		端末利用に係る回線の速度を計測・把握した学校の率:目標100%	100% (R7)	100% (R7)
435		課題のある学校についてアセスメントを実施済みの自治体の率:目標100%	100% (R7)	100% (R7)
436		必要なネットワーク速度を確保済みの学校の率:目標100%	100% (R7)	100% (R7)
437	校務の デジタル化	FAXでのやり取り・押印を原則廃止した学校の率:目標100%	0% (R7)	100% (R7)
438		校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力作業を一掃した学校の率:目標100%	100% (R7)	100% (R7)
439		クラウド環境を活用した校務DXを積極的に推進している学校の率:目標80%	0% (R7)	100% (R10)
440		次世代の校務システムの導入に向けた検討を行う自治体の率:目標100%	100% (R8)	100% (R8)
441	1人1台 端末の積極的 活用	毎年度ICT研修を受講する教員の率:目標100%	45% (R7)	100% (R10)
442		情報通信技術支援員(ICT支援員)の配置:目標4校に1人	6校/人 (R7)	4校/人 (R10)
443		1人1台端末を週3回以上活用する学校の率:目標100%	75% (R7)	小/中: 100%(R10)
444		デジタル教科書を実践的に活用している学校の率:目標100%	41% (R7)	100% (R10)
445	個別最適・ 協働的な学び の充実	児童生徒が自分で調べる場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率:目標100%	55% (R7)	小/中: 100% (R10)
446		児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率:目標80%	31% (R7)	小/中: 80% (R10)
447		教職員と児童生徒がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率:目標80%	40% (R7)	小/中: 80% (R10)
448		児童生徒同士がやりとりする場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率:目標80%	18% (R7)	小/中: 80% (R10)

N0	項目	KPI	現状値 (年度)	目標値 (年度)
449	(続)個別最適・協働的な学びの充実	児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において1人1台端末を週3回以上使用させている学校の率:目標 80%	31% (R7)	小/中: 80% (R10)
450	学びの保障	希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴の機会を提供している学校の率:目標 100%	77% (R7)	100% (R10)
451		希望する児童生徒への端末を活用した教育相談を実施している学校の率:目標 100%	24% (R7)	100% (R10)
452		外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に端末を活用している学校の率:目標 100%	61% (R7)	100% (R10)
453		障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施している学校の率:目標 100%	76% (R7)	100% (R10)